

選択領域 8月9日(金) その1

☆主な受講対象者 幼:幼稚園教諭、小:小学校教諭、中:中学校教諭、高:高等学校教諭、特:特別支援学校教諭、養:全校園種の養護教諭

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
E-1	心と身体の健康 II	6時間	教諭・養護教諭	幼・小・中・高・特・養	180名
<p>テーマ : 子どもの現代的健康課題の現状と支援のあり方</p> <p style="text-align: right;">講師 : 大平 雅子</p> <p style="text-align: center;">講師 : 野澤 正寛(済生会滋賀県病院 救命救急センター)</p> <p>近年、子どもを取り巻く環境は刻一刻と変化しており、それに付随して子どもの健康課題も徐々に変化しています。本講習では、健康に関する現代的課題について、生活習慣と救急処置の側面から現状と支援のあり方を考えていきます。科学的根拠のあるデータや個別の事例等から、現場において実践可能な健康問題解決の方策を検討していきます。</p> <p>テーマ : 学校教員のための精神医学</p> <p style="text-align: right;">講師 : 久保田 泰考</p> <p>教育現場で問題になることの多い精神障害・疾患についての基礎的な知識を習得し、危機介入や治療について理解を深めることを目標とします。具体的には、うつ、双極性障害、自閉スペクトラム、統合失調症などを取り上げ、こころの問題を抱える生徒のために現場において可能な支援・援助について検討していきます。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
E-2	言語と文化 ー当たり前が当たり前でない世界ー	6時間	教諭	幼・小・中・高・特	100名
<p style="text-align: right;">講師 : 千 一楽</p> <p>自然と日本語を身につけ、日本文化の中で生活してきた我々にとって、当たり前のように認識していることが、必ずしも、異なる言語と文化を共有している人々にとっても当てはまるわけではありません。むしろ、当てはまらない場合が多いでしょう。異文化に接するとき、それらの差異が原因で、思わぬ誤解を生じてしまうことが多々あります。この授業では、日本語、中国語、英語、韓国語などの言語と文化を観察することで、異文化間の差異についてみなさんと一緒に考えていきます。プレゼントをもらったのに、「ありがとう」と言わない。食事に誘った相手が行くこと返事したのに、当日来なくてその後謝りもしない。トンボも飛行機もパイロットも同じ単語、人に褒められて、「もっと言って、もっと褒めて」と言う。なぜ？</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
E-3	保健と体育の実践的指導を考える	6時間	教諭	幼・小・中・高・特	50名
<p style="text-align: right;">講師 : 谷川 尚己(びわこ成蹊スポーツ大学)</p> <p>1. 運動遊びや体育の学習指導で求められる力を考える</p> <p>幼児の発達発育段階に見合った運動遊びについて、その効果的な実践方法を考える。また、児童生徒が「わかる」と「できる」をつなげる学習について、教材教具を工夫したり、適切な助言を与えたりすることによって課題達成のための教師に求められるものについて考える。</p> <p>2. わかって使える、共に創り学ぶ保健学習を考える</p> <p>幼児の基本的な生活習慣や身の回りの清潔、安全を考え、行動に移す方法を考える。また、児童生徒が理解を深める保健の授業の実践例を紹介し、グループ活動を通して自前の教材教具を作成し、生きる力につながる保健の授業を考える。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
E-4	「言葉がもつよさ、言葉による伝え合う力」について考える	6時間	教諭	幼・小	30名
<p style="text-align: right;">講師 : 村田 耕一</p> <p>幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に示された言葉による伝え合いや、小学校学習指導要領の国語に示された言葉のもつよさの認識や伝え合う力を高めることについて、それぞれ内容や幼・小の繋がりを理解するとともに、実際の指導事例をもとにして理論と実践を往還させながら、協議や演習を通して考えていきます。本講習を通して、「言葉で伝え合うって楽しいね。」と子供たちの声がクラスから聞こえる保育や授業の創造について考えていきます。</p>					

選択領域 8月9日(金) その2

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
E-5	小学校教員のための理科講座 －天文領域と化学領域－	6時間	教諭	小	30名
<p>テーマ：月の見え方と動き</p> <p style="text-align: right;">講師：大山 真満</p> <p>天文分野は、子どもにとって興味や関心の高い分野である一方、理解し難い分野でもあります。また、教員にとっては、子どもからの質問に答えるのが難しい分野でもあります。これにはまず、太陽・地球・月・人の位置関係と実際の天体の動きから、この分野を教員自身が理解しておく必要があります。そこで、この講座では、実際の天体の動きと太陽・地球・月・人の位置関係から月の満ち欠けと見え方、月の日周運動を理解していきます。</p>					
<p>テーマ：私たちの化学</p> <p style="text-align: right;">講師：徳田 陽明</p> <p>私たちの身の回りには化学物質があふれています。この講習では、これらの化学物質が私たちの生活をどれほど豊かにしているかについての講義を行います。そして、小中高大での学びの一つの柱である「酸とアルカリの反応」についての実験を少人数のグループで体験して頂きます。また、身近な「科学」現象についてのQ&Aタイムを設けます。この講習を通じて化学を広く深く理解することを目標としています。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
E-6	日本の音のいま／むかし	6時間	教諭	小	30名
<p>テーマ：日本の楽器「箏」を使って日本の音階を考える</p> <p style="text-align: right;">講師：井口 はる菜(関西外国語大学)</p> <p>箏の扱い方、基本的な奏法、楽譜の読み方など、箏に関する基礎知識を、実践を通して身につけ、その特性を知ることが目的とします。指導する際に注意すべき点なども、体験によって習得していただき、いろいろな手法を学び取ることによって、それらをぜひ教育現場で活用していただきたいと思ひます。また、身近にあふれている日本の音階について、あらためて考え、意識する機会にしたいです。</p>					
<p>テーマ：音によって、感じ見出してゆくこと</p> <p style="text-align: right;">講師：若林 千春</p> <p>音楽の楽しさ・美しさをとらえる力を、どのように見出し・深めてゆけばよいのか。この問い自体をもう一度見つけ直して、わたしたちの前にある「さまざまな音楽と日本語との結びつき」という観点から、みなさんとともに「今何が問題なのか」を考えていきたいと思ひます。音楽が音楽になる以前の「音のおもしろさ」の発見を、聴く・聴きとるという営みの根源的な契機としてとらえて、新しい音楽表現のあり方が「音とこどもと社会との関係に何を暗示しているのか」見出していきたくて思ひます。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
E-7	歴史学に触れる －史料は怖くない－	6時間	教諭	中・高	30名
<p>主に中・高等学校教諭を対象とした内容ですが、興味のある方は小学校教諭の方も受講していただけます。</p> <p>テーマ：史料を歩く</p> <p style="text-align: right;">講師：宇佐見 隆之</p> <p>古い歴史は変わらないからそのまま教えれば良い？そんなことはありません。昔『源頼朝像』と習った絵は、今『足利直義像』と考えられています。なぜそうなったのか。それは史料による理解が深まったためです。そのような事項を例をいくつかとりあげ史料を読み解く。また、滋賀県特有の歴史の話題にも触れてみたいと思ひます。</p>					
<p>テーマ：史料から見た「ローマ帝国」</p> <p style="text-align: right;">講師：大清水 裕</p> <p>教科書に書かれている歴史的「事実」は、本当に「事実」なのでしょうか。歴史の研究は、史料に基づいて行われます。しかし、その史料の解釈の仕方は一つではありません。この講座では、古代ローマ史の分野から、アウグストゥスによる「帝政」の成立と、コンスタンティヌス帝による「キリスト教の公認」という2つの出来事を取り上げ、同時代史料を読みながら「事実」の確定に取り組んでみたいと思ひます。</p>					

選択領域 8月9日(金) その3

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
E-8	家庭科 －衣生活と食生活－	6時間	教諭	小・中・高	50名
<p>テーマ：健康・快適・安全で持続可能な衣生活と食生活について考える</p> <p style="text-align: right;">講師：與倉 弘子・久保 加織</p> <p>本講習では、新学習指導要領における家庭科の衣生活と食生活の内容を基本として、社会において主体的に生きる消費者をはぐくむ視点から、健康・快適・安全で持続可能な暮らしの在り方と資源や環境に配慮したライフスタイルの確立を目指す指導について、講義や実験実習を通して探っていきます。衣生活については、乳幼児・高齢者の被服や熱中症対策など、リスク対応型の衣生活教育について理解を深め、滋賀の伝統織物を用いた実験実習により、衣生活の地産地消と持続可能な衣生活について考えます。食生活については、食事の役割や栄養を考え、環境に配慮した食事のとり方と調理を学習するための基礎的知識と技能の確認と、現代的課題に対応するための課題解決型学習の方法を実験実習を取り入れながら考えます。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
E-9	保育者養成の現状と 幼児教育方法の理解	6時間	教諭	幼	100名
<p style="text-align: right;">講師：金森 由華(多治見ひまわり幼稚園長)</p> <p>1. 幼稚園教諭を育てる</p> <p>幼稚園教育の場において、教師は子どもや保護者との関わりが主になります。しかし、経験年数を重ねていくと、自分のクラスの事だけを考えることが許されなくなります。後進の指導も大きな職務の一つと言えるでしょう。本講習では幼稚園教諭をいかに養成していくかについて、指導案の書き方、指導案の添削、教育実習評価の方法を説明しながら理解を深めていきます。</p> <p>2. 幼児教育における「環境」を考える</p> <p>幼児教育において「環境」が重要であることは、幼稚園教諭ならば誰もが知っていることでしょう。「環境」への考えを深め、その重要性を理解していくことは、幼稚園教諭の永遠の課題であるとも言えます。幼稚園教育要領における「環境」領域と、「環境を通して行う」教育の「環境」は同じ概念ではありません。本講習では具体的な遊びを例示し、それぞれの「環境」の違いに注目しながら、幼児教育における「環境」の意味と幼児教育の方法を捉えなおします。</p>					